



ZENBUTSU

全仏

No.
581

仏暦2555年8月
[2012年]



全日本仏教会主催「増上寺の夕勤行体験と講演会」夕勤行の様子（浄土宗大本山増上寺大殿：関連記事P2）

目次	『増上寺の夕勤行体験と講演会』開催	2
	世界仏教徒結集開催	3
	第26回WFB(世界仏教徒連盟)世界仏教徒会議韓国大会開催	3
	平成24年度 監事会、第1回理事会、評議員会開催	4
	平成24年度 第1回東日本大震災支援検討会議開催	4
	兵庫県仏教会において本会事業説明	5
	東京都仏教連合会 総会・研修会・懇親会 開催	5
	静岡県仏教会において本会事業説明	6
	神奈川県仏教会において本会事業説明	6
	救援基金 東日本大震災第4次支援金拠出のご案内	16

公益財団法人



全日本仏教会
WFB(世界仏教徒連盟)日本センター

『増上寺の夕勤行体験と講演会』開催

講演…俳優座所属 女優 有馬 理恵 さん
 演題…「いのちの豊かさを求めて〜釈迦内枢唄の公演に携わって〜」

本会加盟団体の人権問題担当者を対象に、各団体が取り組んでいる人権啓発活動に関しての報告や、同和問題解決に向けた対策などを話し合う『人権問題連絡協議会』が六月五日に浄土宗大本山増上寺で開催された。また、協議会開催に併せ、本会賛助会員及び一般の方を対象とした『増上寺の夕勤行



講師の有馬理恵さん

体験と講演会』も併催された。

本年四月一日より公益法人へ移行した本会は、一人でも多くの一般の方に、私達が取り組んでいる人権啓発活動を知っていただきたいと考え、前期より上記協議会と併催して講演会を行なっている。

今回、参加者には増上寺大殿内で毎日行なわれている夕勤行に体験参加していただき、その後、通常では入ることのできない大殿三階仏間で開催の講演会に参加いただく催しを計画し、本会のホームページやダイレクトメールで広く参加募集を行なった結果、定員の百名を超える参加者が集まった。

この講演会で講師を務められたのは、水上勉原作の戯曲『釈迦内枢唄』（しゃかないひつぎうた）の主演で俳優座所属の女優、有馬理恵さん。『釈迦内枢唄』は劇団希望舞台が一〇〇〇回公演を目指し、全国各地で公演を続けている。

同公演は、第二次世界大戦末期に秋田県の花岡鉦山で起きた強制労働事件を背景に、火葬場の跡継ぎとなるふじ子を主人公とした物語。朝鮮半島からの強制徴用により、鉦山などで過酷な環境と非情な条件下で働かされた外国人労働者や、職業による差別問題について、さらには戦争による歪んだ国家権力の行使について鋭く、かつやるせなく描かれている。有馬さんが演ずるのは、こうした差別や権力と必死に戦う人々の心境や、「いのち」の尊厳を全身全霊で訴えかける舞台だ。

講演の中で有馬さんは、『釈迦内枢唄』の一部を二〇分間のひとり芝居にアレンジして演じた後、幼少からの境遇を語り、高校時代にこの舞台と出会った感動や、長らく疎遠であった祖父母との交流を通じて、差別や戦争の悲惨さを憂う気持ちを包み隠さず丁寧に語



大勢の皆様にご参加いただきました（増上寺大殿三階道場）

った。大殿三階道場に集まった参加者は一様に感動を受け、涙を流す参加者もいた。

なお、舞台『釈迦内枢唄』の講演に関するお問い合わせは、劇団希望舞台制作部（☎〇九〇―二七七九―五九一七）まで。

<http://www.kibou-butai.com/syaka/>

世界仏教徒結集開催

二〇一二年五月二十一日(月)から二十五日(金)にかけて、タイ国政府並びにWFB(世界仏教徒連盟)主催の仏陀成道二六〇〇年、タイ王国プーミポン・アドゥンラヤデート国王陛下八十五歳、同国王妃陛下八十歳、並びに同国皇太子殿下六十歳の誕生日をお祝いする式典が、バンコク市内のエメラルド寺院、並びに劇場やホテル等を会場に開催され、世界各地から仏教徒約四百名が招待された。本会より、宮林昭彦副会長、戸松義晴WFB執行役員、正本乗光WFB人道支援委員会委員長、関崎幸孝事務総長、奈良慈徹総務部長、鈴木智信国際部長並びに酒井仁成国際部嘱託が参加した。

本祝賀行事は、先の大洪水の影響に伴い、昨年十一月開催が延期となり、今回実施されたものである。

行事は、五月二十一日早朝のVajiravudh大学での平和の祈りと記念写真撮影を皮切りに、同日

午後からバンコク市内のアクサラシアターを会場にパン・ワナメグティーWFB会長の開会宣言プログラムにより祝典が開始され、関係各要職者の挨拶や、基調講演、各種芸術公演などが翌日の昼下がりまで行われた。なお、同シアターで行われた祝典において、本会宮林昭彦副会長が、半田孝淳会長の祝辞を代読した。

また、二十二日夕刻六時より、エメラルド寺院において、王妃御臨席のもと、勤行並びにプレゼント交換式などの儀式が行われた。そして、二十三日より二十五日までインペリアルクイーンズパークホテルを会場に、「宗教間の調和と紛争解決による世界平和の実現」をテーマに宗教者サミットが開催された。



半田会長祝辞を代読する宮林副会長

第二十六回WFB(世界仏教徒連盟)世界仏教徒会議韓国大会開催

第二十六回WFB世界仏教徒会議韓国大会が、麗水市・オーシャン・リゾート(ホテル)を主会場に、六月十一日(月)～十五日(金)の日程で開催され、世界各地から仏教徒約四百名が集い、本会からは、小林正道理事長、戸松義晴WFB執行役員、正本乗光WFB人道支援委員会委員長、日比野郁皓師、鈴木智信国際部長、藤田宗玄国際部次長が参加した。

WFB(世界仏教徒連盟)では二年に一度、世界各地の仏教徒が集い、国際会議を開催している。本会は、WFB日本センターとしての唯一の日本仏教界の窓口を担っている。

今大会は、韓国・麗水市で行わ

れている海洋万博にあわせて開催され、大会テーマは、「Buddhist Thought and Practice in Ecology for the 21st Century (二十一世紀エコロジーにおける仏教的思想と実践)」などであった。

大会では大乘、上座部など世界の仏教徒が部派の違いを超え、分科会等で活発な意見交換などがなされた。また、総会では、WFB役職者の改選が行われ、引き続きWFB副会長に小林正道師、WFB執行役員に戸松義晴師が再任され、WFB人道支援委員会の委員長に日比野郁皓師が推薦され、新たに就任することになった。その他にも、仏教ビジネスフォーラムや世界各国の提燈を集めた式典が開催されるなど、韓国の仏教界を挙げての盛大な大会であった。



会場前での記念撮影



会議の様相



各国の国旗をあしらった提燈

平成二十四年度 監事会、第一回理事会、評議員会開催

本年四月一日に公益財団法人に移行後、初の監事会(監査会)、理事会、評議員会を開催した。従前の会と比べ、定員が大幅に減少したことにより、何れの会も、距離が近まった顔の見える会となった。

Ⅱ 監事会(監査会)Ⅱ

五月十五日午後二時より、新監事三名全員出席のもと、本会会議室にて開催した。今回より公認会計士が監事に加わり、より専門的な視点から事業及び収支決算について監査が行なわれた。監査の結果、当該事業年度に係る事業報告と計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について、適正であることが認められた。

出席監事 三名中三名出席

井桁雄弘、古澤勝浩、山中一郎
(順不同 敬称略)

Ⅱ 第一回理事会Ⅱ

監査から二週間後の五月二十九日、今年度第一回の理事会を東京グランドホテルにおいて午後二時より開催した。定款に従い、小林正道理事長が議長を務め、出席した監事二名が議事録署名人となった。審議の結果、議案はすべて全会一致で承認された。

決議事項

第一号議案【平成二十三年度事業報

告について承認を求めると

第二号議案【平成二十三年度収支決算について承認を求めると】

第三号議案【公益認定申請の追加変更について承認を求めると】：大

蔵経テキストデータベース運営支援事業の変更申請

第四号議案【定款の変更について承認を求めると】：代議員会議、W

F B日本センター運営委員会の規程の追加と一部字句の修正

第五号議案【諸規程について承認を求めると】

第六号議案【評議員会の招集及び開催について承認を求めると】：定

款に基づき今回より実施

出席理事 二十名中十七名出席

小林正道、池田行信、石堂恵眼、岡野正純、桶屋良祐、粕谷利通、駒野教源、近藤昌俊、庄野光昭、杜多徳雄、長澤香静、不破 仁、本間孝康、松山英照、森田俊朗、山田一眞、吉田教行

出席監事 三名中二名出席

井桁雄弘、山中一郎
(順不同 敬称略)

Ⅱ 評議員会Ⅱ

第一回理事会から二週間後の六月

二十日午後二時より、明照会館会議室にて開催した。定款に従い、互選

により議長に齋藤明聖評議員、議事録署名人に佐々木孝一、渡邊照敏両評議員を選出した。

議案について、定款で事業報告は評議員会では報告事項となっているため、第一号議案を報告事項に変更することが提案され、異議なく了承された。第二号議案から第四号議案までは、審議の結果全会一致で承認された。

決議事項

第一号議案【平成二十三年度事業報

告について承認を求めると】

第二号議案【平成二十三年度収支決

算について承認を求めると】

第三号議案【公益認定申請の追加変更について承認を求めると】

第四号議案【定款の変更について承認を求めると】

出席評議員 十名中八名出席

出席理事

小林正道
出席監事 三名中三名出席
井桁雄弘、古澤勝浩、山中一郎
(順不同 敬称略)

平成二十四年度第一回東日本大震災支援検討会議開催

標記会議を、七月二日午前十時より本会会議室にて、関崎幸孝事務総

長のもと、委員全員が出席して開催。以下の議題について検討を行なった。

1. 東日本大震災にかかる第三次支援活動の報告について

2. 今後の取り組みについて

3. その他

会議において確認された事項

◆加盟団体以外の寺院や支援活動団体から申請があった場合は、①今後加盟を前提に共に活動していただきたい旨の一言を添え、②所属宗派の本山に所属寺院や支援活動団体に本会救済基金から支援したことを通知し加盟を促進する。

◆七月以降に支援活動をする団体については第四次支援として扱う。

◆第四次支援として、予算四千五百万円範囲で支援を行なう。

◆応募締め切りを十一月末日までとし、七月一日から支援活動を行なっている団体に支援金十万円を支給する。

活動内容は従前の被災地支援活動に加え、被災地在住の方の一時受け入れも含む。

出席委員 五名中五名出席

山田一眞、古澤勝浩、宮寺守正、

茂田真澄、長谷川正浩

(順不同 敬称略)

兵庫県仏教会において本会事業説明

兵庫県仏教会（会長・篠原法傳師）から本会事業説明の依頼があり、去る六月十八日（月）に神戸メリケンパークオリエンタルホテルにおいて、兵庫県仏教会理事総会が開催され、広報文化部長（加久保範祐）が出席し事業説明を行った。

兵庫県仏教会は会長以下副会長三名、監事二名、顧問四名、参与一名、常任理事九名、理事四九名、事務局八名という役員で構成されており、県下八つの地区に所属する総寺院数は二、五一三ヶ寺という、本会加盟の都道府県仏教会の中でも規模の大きな団体である。当日は、主に公益財団法人移行への経緯と、本会と兵庫県仏教会との関わりについて説明した。

まず本会から、第二十七期の常務理事会において、政府から示された公益法人制度改革を踏まえ、公益財団法人に移行することが決定され、その後四年間の移行準備を経て、本年四月一日から公益財団法人として再スタートしたことを説明。新しい組織では今までの理事・評議員・参与という立て付けから、評議員・理事という立て付けに変更したこと。役員代理

出席及び委任状が効かない為、役員の数数を絞り込まざるをえなかったこと。この二点について理解を求めた。

次に、新しい組織では各加盟団体から選出された代議員が「宗派代議員会議（除・評議員就任宗派）」「都道府県仏教会・仏教団体代議員会議」のどちらかに所属され、本会の事業活動に対する各加盟団体の意見集約を図り、本会の事業に反映されることを目的として設置されたことを説明し、選任される代議員の重要性について理解を求めた。

また、二つの代議員会議の他にWFB（世界仏教徒連盟）日本センター運営委員会が新たに設置され、今までの三つの審議会（総務財政・社会人権・国際交流）と、二つの委員会（宗教教育推進・広報）を含め、宗派を超えた伝統仏教教団のあり方と、宗教そのものが持つ公益性を堅持しながら事業を推進していきたい旨、理解と協力を求めた。

理事総会終了後、住職歴五十年表彰祝賀会が開催され、永年のご功績を称え、終始和やかな宴が開かれた。

東京都仏教連合会 総会・研修会・懇親会開催

本会加盟団体の東京都仏教連合会（以下同会）は、六月十八日、東京新宿の京王プラザホテルを会場に平成二十四年度の総会・研修会・懇親会を開催した。本会からは、関崎事務総長、奈良総務部長、大辻社会人権部長の三名が出席した。総会は午後三時から開会し、同会の新倉典生事務局長の司会で進行的した。まず同会会長の丹羽慈祥師が導師となり三帰依文を唱和の後、物故先師会員の黙祷を行い議事に入った。

議事、事務局報告に続き、改めて丹羽会長よりご挨拶が有り、その後監事委嘱に引き続き来賓挨拶となった。司会者より本会参加の三名の紹介を頂き、代表して関崎事務総長が登壇し、同会に対し御礼方々今後の協同活動をお願いした。その後関崎事務総長により、秋川仏教会をはじめ出席の各仏教会に対し東日本大震災義援金の感謝状を贈呈した。

総会終了後、研修会が開催され、まず大和証券法人マーケティング課の石田佳宏氏が、「宗教法人の税務調査動向」と題して講義が行われた。

続いて東京電力福島第一原発事

故被災寺院「有志の会」事務局長の早川光明師（浄土宗福島教区浜通り組・浄林寺住職）により「震災後、福島の実状」と題して講義が行われた。早川師は原発事故のために避難している富岡町仏教会所属寺院と浄土宗寺院を中心にした十八ヶ寺で「有志の会」を立ち上げ、事務局の代表として活動し、東電との賠償問題に関する事務手続きや交渉、議論、問題提起等を進めている。東電は被災寺院に対し震災前年度に対する減収率で補償を行おうとしているが、早川師は被災寺院の実情に合わないとし、逸失利益での補償を要求している。師の寺院は原発の二十キロ圏内寺院であるが、定期的に寺院に戻り瓦礫の片付けや、昨夏は防護服無しで境内の草取りを行ったなど現場の生々しい状況を政府・東電に対する怒りを込めた内容で話されていた。

研修会終了後同ホテル内の「富士の間」に会場を移し懇親会となった。懇親会では丹羽会長の挨拶の後、来賓挨拶にて本会の奈良部長が登壇し、本会の活動や御礼の言葉を述べた。懇親会は実に和やかにかつ賑やかに進行し、同会理事長の山田一眞師の中締めで終了した。

静岡県仏教会において本会事業説明

静岡県仏教会より本会事業説明の依頼があり、六月十八日(月)に静岡市清水区の清水テルサを会場に開催された「平成二十四年度静岡県仏教会第二回理事会」において、財務部長(久喜和裕)が出席し、事業説明を行った。

開会に際し、静岡県仏教会会長水谷彰道師導師により、三婦衣文が唱和され、引き続き水谷会長による開会の挨拶・議長選出(前島弘道師)の後、理事会が開会された。

まず、本会からの事業説明が求められる、公益法人移行の経緯より説明を行った。

政府より公益法人制度改革について示されたことを踏まえ、四年間の準備期間を経て、本年四月一日に認可を受けて「公益財団法人全日本仏教会」として新たに歩み始めた旨を説明した。

公益財団法人になったことにより、組織が大幅に変化したことを最初に説明し、今までの「理事・評議員・参与」の枠組みから「評議員・理事」を中核に置く組織に変わり、それに伴って「評議員・理事」共に定数の削減を求められた結果、役員が大幅に削減された

ことについて理解を求めた。

また、新たに「都道府県仏教会・仏教団体代議員会議」「加盟宗派代議員会議」を設置することにより、幅広く加盟団体の意見を取り入れる機会を設けたので、静岡県仏教会からも参加いただくよう依頼した。

また、「公益財団法人」としてより一層公益性が求められることとなり、事業内容も、広く一般に向けて発信することが求められることについても説明した。

主な公益事業として、昨年度より事業を開始し、本会にとって公益事業の中心となっている、①東日本大震災救援活動支援事業、②大蔵経テキストデータベース運営支援事業、について資料を基に説明し、さらに、過去より開催している様々なシンポジウム・セミナーなども内容について精査し、より一層の公益性を追求していく必要があることを説明した。

最後に、来年の秋に予定されている「全日本仏教徒会議」について触れ、高野山での開催に際しては参加くださるよう依頼して、本会事業説明を終了した。

神奈川県仏教会において本会事業説明

神奈川県仏教会より本会事業説明の依頼があり、六月十八日(月)に横浜市中区西有寺を会場に開催された「平成二十四年度神奈川県仏教会総会」において、財務部長(久喜和裕)が出席し、事業説明を行った。

開会に際し、神奈川県仏教会会長本間孝康師導師により、三婦衣文が唱和され、引き続き本間会長による開会の挨拶の後、総会が開会された。

まず、本会からの事業説明が求められる、公益法人移行の経緯より説明を行った。

政府より公益法人制度改革について示されたことを踏まえ、四年間の準備期間を経て、本年四月一日に認可を受けて「公益財団法人全日本仏教会」として新たに歩み始めた旨を説明した。

公益財団法人になったことにより、組織が大幅に変化したことを最初に説明し、新たに「都道府県仏教会・仏教団体代議員会議」「加盟宗派代議員会議」を設置することにより、幅広く加盟団体の意見を取り入れる機会を設けたことを説明した。

また、「公益財団法人」として

より一層公益性が求められることとなり、事業内容も、広く一般に向けて発信することが求められることについても説明した。

主な公益事業として、まず東日本大震災救援活動支援事業について説明し、現在も支援金の申請を受付中であること、今後も支援を続けるので支援団体の情報提供について依頼した。

また、大蔵経テキストデータベース運営支援事業について資料を基に説明し、インターネット上で誰でも利用できるようになっており、データベース内容を確認し、今後の理解・協力をお願いした。

さらに、今年度開催したセミナーでは内容について精査し、より一層の公益性を追求していくため、人権研修参加者を一般公募したことや、増上寺の夕勤行を一般参加者に体験してもらおうといった、幅広い参加者に仏教触れる機会を提供するような事業も行ったことを紹介した。

最後に、来年の秋に予定されている第四十二回全日本仏教徒会議高野山大会について触れ、開催に際しては是非参加くださるよう依頼して、本会事業説明を終了した。

暑中お見舞い申し上げます

曹洞宗宗務庁

管 長 福山 諦法
 宗務総長 佐々木 孝一
 参 議 羽仁 素道
 参 議 梅田 泰隆
 教学部長 河村 松雄
 伝道部長 齋藤 裕道
 人事部長 中野 重哉
 出版部長 石川 順之
 教化部長 釜田 隆文
 総務部長 坂野 浩道
 財政部長 神野 哲州

東京都港区芝二丁目一丁目
 〒105-8544 〇三(三四五四)五四一一
<http://www.sotozen-net.or.jp>

浄土真宗本願寺派

総 長 橘 正信
 総 務 後藤 壽邦
 総 務 中戸 康雄
 総 務 阿部 慶一
 副 総 務 藤野 堯文
 副 総 務 山階 昭雄
 宗門長期振興計画推進対策室長 高橋 篤法
 統合企画室長 中尾 史峰
 浄土真宗本願寺派総合研究所長 佐々木 恵精

京都市下京区堀川通花屋町下ル
 〒600-8501 〇七五(三七)五一八一
 F A X 〇七五(三五)一一二二一一

真宗大谷派

宗務総長 安原 晃
 参 務 長 杉浦 義孝
 参 務 竹田 惠示
 解放運動推進本部長 林 治
 参 務 江尻 静哉
 青少年センター長
 参 務 岩坂 賢龍
 首都圏教化推進本部長

京都市下京区烏丸通七条上ル
 〒600-8505 〇七五(三七)九一八一代表
<http://www.higashihonganguji.or.jp/>

浄土宗

浄土門主 伊藤 唯眞
 宗務総長 豊岡 鎌尔
 総務局長 中村 在徹
 教学局長 山本 正廣
 財務局長 浦野 瑞明
 社会国際局長 宮林 雄彦
 文化局長 岡本 宣文
 総長公室長 浅野 義光
 人権同和室長 山北 光彦
 宗祖法上人八草大速忌事務局長 武田 和清
 災害復興事務局兼社会福祉推進事務局長 新谷 仁海
 職員 一同

浄土宗宗務庁
 京都市東山区林下町四〇〇一八
 〒605-0062 〇七五(五二五)二二〇〇代
 F A X 〇七五(五三二)五一〇五
 東京都港区芝公園四丁目一丁目
 〒105-0011 〇三(三四三六)三三五一代
 F A X 〇三(三四三四)〇七四四
<http://www.jododo.or.jp/>

日蓮宗

管 長 内野 日絵
 宗務総長 渡邊 照敏
 伝道局長 齊藤 憲一
 総務局長 塩崎 望巳
 伝道部長 中井 本秀
 教務部長 川口 久雄
 総務部長 池田 弁岳
 財務部長 川口 智康
 宗務総長 渡邊 義生
 現代宗教研究所長 三原 正資
 参 与 渡邊 一之
 参 与 吉田 海心
 日蓮宗新聞社長 村上 俊正

東京都大田区池上一丁目三十一番五
 〒146-8544 〇三(三七五)七一八一
 F A X 〇三(三七五)七一八六
<http://www.nichiren.or.jp/>

暑中お見舞い申し上げます

総本山金剛峯寺 高野山真言宗

座長	主松長有慶	執行総長	庄野光昭	執行総長	永島龍弘	執行総長	村上保壽	執行総長	仲下瑞法	執行総長	森寛勝	執行総長	岡部兼海	執行総長	倉岡弘叔	執行総長	深真樹	執行総長	萩山祥光	執行総長	近藤本淳	執行総長	奥之院維那	執行総長	加古原大岳	執行総長	伽藍維那	執行総長	坎宥行	執行総長	四之宮弘孝	執行総長	柏田良辯	執行総長	堀川別院主監	執行総長	東京別院主監	執行総長	東京別院主監	執行総長	和歌山県伊都郡高野町高野山一三二
〒648-0294	07336(五六)2001	FAX	07336(五六)4640	http://www.koyasan.or.jp/																																					

臨濟宗妙心寺派宗務本所

管長	河野太通	宗務総長	松井宗益	総務部長	松山英照	教学部長	栗原正雄	財務部長	松久宗心	本部園長	林学道	法務部長	土井克彦	花園園長	(兼)松山英照	館部	長会	〒616-8035	075(四六三)3111	http://myoshinji.or.jp/	
----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	---------	----	----	-----------	--------------	-------------------------	--

天台宗務庁

天台座主	半田孝淳	宗務総長	阿純孝	参総務部長	杜多道雄	参法務部長	山田亮清	参財務部長	阿部昌宏	参教学部長	齊藤圓真	参社会部長	村上圓竜	参一隅を照らす運動総本部長	福惠善高	大津市坂本四丁目六番二号	〒520-0113	077(五七九)0022	FAX	077(五七九)2516	http://www.tendai.or.jp/	
------	------	------	-----	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	---------------	------	--------------	-----------	--------------	-----	--------------	--------------------------	--

真言宗智山派宗務庁 総本山智積院法務所

管長	寺田信秀	宗務総長	小宮一雄	総務部長	芙蓉良英	教学部長	細川大憲	教化部長	近藤隆俊	法務部長	鶴飼五大	財務部長	深澤照生	宗務出張所長	近藤昌俊	別院執事	近藤昌俊	京都市東山区東大路七条下ル	東瓦町九六四	〒605-0951	075(五四一)5361	http://www.chisan.or.jp/	
----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	--------	------	------	------	---------------	--------	-----------	--------------	--------------------------	--

真言宗豊山派宗務所

管長	加藤精一	宗務総長	坂井智宏	総務部長	増澤秀丸	財務部長	中正宣	教務部長	渡会瑞顕	教化部長	岩脇彰信	教化センター長	吉田敬岳	総合研究院長	平井宥慶	東京都文京区大塚五十四〇一八	真言宗豊山派宗務所 総務部	〒112-0012	03(三九四五)0555		
----	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	---------	------	--------	------	----------------	---------------	-----------	--------------	--	--

暑中お見舞い申し上げます

総本山仁和寺
真言宗御室派

管門
長跡
南
揚
道

執行
宗務
総長
瀬
川
大
秀

総務
財務
部部長
大
西
智
城

執
教
学
部
部
長
藤
橋
千
秋

仁和
伝法
所
長
添
野
智
讓

仁和
密教
学院
長
林
俊
仁

京都市右京区御室大内三三
〒616 8092 〇七五(四六一)一一五五
F A X 〇七五(四六四)四〇七〇
<http://ninai.jp>

真言宗醍醐派宗務本庁
総本山醍醐寺寺務所

座管
主長
仲
田
順
和

宗務
執行
総長
壁
瀬
宥
雅

総務
部部長
行長
仲
田
順
英

教
学
部
部
長
行長
田
中
祐
考

財
務
部
部
長
行長
浦
郷
宜
右

京都市伏見区醍醐東大路町二二
〒601 1325 〇七五(五七一)〇〇〇二
F A X 〇七五(五七一)〇〇〇一
<http://www.daigoji.or.jp>
携帯電話でも御覧頂けます。



天台真盛宗宗務所
総本山山西教寺

貫管
首長
西
村
問
紹

宗務
執行
総長
川
合
歳
明

庶
務
部
部
長
喚
阿
宏
道

教
学
部
部
長
別
所
泰
広

社
会
部
部
長
竹
澤
良
全

財
務
部
部
長
森
尾
即
榮

滋賀県大津市坂本五―三―一
〒520 0113 〇七七(五七八)〇〇一三
F A X 〇七七(五七八)三四一八

融通念佛宗
総本山大念佛寺

法管
主長
倍
巖
良
舜

宗務
寺務
総長
吉
村
暲
英

教
学
部
部
長
中
江
慈
光

庶
務
部
部
長
岡
田
眞
澄

財
務
部
部
長
北
川
全
宏

大阪市平野区平野上町
〒547 0045 〇六六(七九二)〇〇二六
F A X 〇六六(七九三)三〇五〇
<http://www.dannenbutsuji.com/>

法華宗(陣門流)

管
長
石
丸
日
然

宗
務
部
部
長
佐
古
弘
文

總
務
部
部
長
牧
野
秀
成

教
学
部
部
長
布
施
義
高

教
化
部
部
長
今
井
満
良

財
務
部
部
長
金
原
孝
宜

企
画
部
部
長
山
岸
観
深

東京都豊島区巣鴨五―三―五六
〒170 0002 〇三三(三九一)八七二九〇
F A X 〇三三(三五七)六〇二二一

暑中お見舞い申し上げます

大阪府佛教会

会長 井桁 雄弘
(浄土宗 大圓寺)

副会長 森田 俊朗
(和宗 四天王寺)

同 北村 日照
(日蓮宗 櫛笥寺)

同 村山 廣甫
(曹洞宗 東光院)

同 森 快隆
(真言宗 葛井寺)

事務局長 二上 寛弘
(真言宗 釋迦院)

事務局
大阪市港区築港一十三-13
釋迦院内
〒552-0021 〇六(六五七)五七一〇

神奈川県仏教会

会長 本間 孝康

副会長 和田 大雅

同 都築 哲信

同 木内 雍明

同 丸山 邦雄

事務局長 吉水 智栄

横浜市中区大平町九六
西有寺内
〒231-0859 〇四五(六六一)〇一六六

財団法人埼玉県佛教会

会長 萩野 映明

副会長 木村 盛雄

同 倉持 秀裕

専務理事 深谷 雅良

常務理事 穂山 教雄

同 加藤 玄静

同 杉村 良哉

同 糸原 恒久

事務局長 金子 嘉広

さいたま市浦和区高砂 四一三-118
〒330-0063 〇四八(八六一)二一三八
FAX 〇四八(八六四)六六四九
<http://sanbutsu.net/>

和歌山県仏教会

会長 前田 定戒
(浄土宗 廣原寺)

副会長 武内 龍雄
(日蓮宗 本行院)

同 岩谷 杖忍
(法華宗 久成寺)

同 西溪 光照
(西山浄土宗 稱念寺)

事務局長 柳瀬 智明
(高野山真言宗 惣光寺)

和歌山市西高松一十一-233
平和会館内
〒641-0051 〇七三(四二六)〇四三四
FAX 〇七三(四三三)八三二二

財団法人 仏教伝道協会

会長 沼田 智秀

理事長 福山 諦法

理事 上山 大峻

同 木村 清孝

同 桂 紹隆

同 門脇 邦彦

監事 中野 東禅

同 野村 邦武

東京都港区芝四丁目三一-14
〒108-0014
電話 〇三(三四五五)五八五一
FAX 〇三(三七九八)二七五八
<http://www.bdk.or.jp>

暑中お見舞い申し上げます

<p>頭本法華宗</p> <p>管 長 中村 日玄</p> <p>宗務総長 朝倉 俊幸</p> <p>京都市左京区岩倉幡枝町九十一 〒606-0015 〇七五(七九二)七一七一 F A X 〇七五(七九二)七二六七</p>	<p>本山宥清寺</p> <p>本山宥清寺 〒602-8330 京都市上京区一条通七本松西入 滝ヶ鼻町一〇〇五番地の一 T E L 〇七五(四六三)四六二〇(代) F A X 〇七五(四六三)四六五一 本門佛立宗 宗務本庁 〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る 東堅町一〇番地 T E L 〇七五(四六二)一六六(代) F A X 〇七五(四六四)五五九九 URL http://www.honnon-butsuryushu.or.jp/</p>
<p>念法眞教</p> <p>総本山 小倉山 金剛寺</p> <p>燈 主 稲山 靈芳</p> <p>大阪市鶴見区緑三十四-二二 〒538-0054 〇六六(九一一)二二〇一 http://www.nenpoushinkyou.jp/</p>	<p>真言三宝宗</p> <p>大本山清澄寺</p> <p>法管 主 坂本 光謙</p> <p>宗務長 岡田 康秀</p> <p>執行長 有井 良隨</p> <p>鉄斎美術館 長 森藤 光宣</p> <p>宝塚市米谷字清シ一番地 〒665-0837 〇七九七(八六六)六六四一 F A X 〇七九七(八六六)六六六〇 http://www.kiyoshikojin.or.jp/</p>
<p>黄 檗 宗</p> <p>管 長 岡田 亘令</p> <p>宗務総長 浅井 聖道</p> <p>萬福寺禪堂師家 近藤 博道</p> <p>京都府宇治市五ヶ庄三番割三四 〒611-0011 〇七七四(三三三)三九〇〇 F A X 〇七七四(三三三)六〇八八</p>	<p>華嚴宗</p> <p>大本山東大寺</p> <p>華嚴宗管長 東大寺別当 北河原 公敬</p> <p>奈良市雑司町四〇六一 〒630-8387 〇七四二(一一二)五五一 F A X 〇七四二(一一二)〇八〇八</p>
<p>東京都仏教連合会</p> <p>会 長 丹羽 慈祥</p> <p>理事長 山田 一眞</p> <p>事務局長 新倉 典生</p> <p>東京都足立区梅田一-二十六-十 善立寺内 〒123-0851 〇三三(八八六)一三六七 F A X 〇三三(八八六)八二五二</p>	<p>金峯山修験本宗</p> <p>総本山金峯山寺</p> <p>管 長 五條 覺堯</p> <p>宗務総長 田中 利典</p> <p>奈良県吉野郡吉野町吉野山二四九九 〒639-3115 〇七四六(三三二)八三七一 F A X 〇七四六(三三二)四五六三 http://www.kinpusen.or.jp/</p>
<p>社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>名誉会長 鷹司 誓玉</p> <p>理事長 末廣 久美</p> <p>事務局長 林 恵智子</p> <p>東京都渋谷区千駄ヶ谷 四一五一-二〇五 〒151-0051 〇三(五七七)〇六七七 F A X 〇三(五七七)〇六七七 http://jbwf.jp E-mail: info@jbwf.jp</p>	<p>愛知県仏教会</p> <p>会 長 吉田 教行</p> <p>副会長 田畑 修身</p> <p>同 伊藤 正導</p> <p>同 岩木 涼山</p> <p>名古屋市中白区植田一-三三-一 全久寺内 〒468-0051 〇五二(八九三)九二九〇 F A X 〇五二(八九三)九二九〇</p>

暑中お見舞い申し上げます

公益財団法人
国際仏教興隆協会

名誉会長 塩川 正十郎
印度山 半田 孝淳
日本寺竺主
理事長 安田 暎胤
事務総長 正本 乗光

役員 一同

東京都目黒区中目黒五―二四―五三
〒153-0061 〇三(三七七)一七六〇八
FAX 〇三(三七七)一七六七三
<http://www.ibba.jp/>
E-mail:jimukyoku@ibba.jp

真言宗国分寺派
大本山国分寺

管 長 合田 和教

宗務総長 糟谷 眞教

大阪府大阪市北区国分寺
一―六一―十八
〒531-0064 〇六(六三二)一五六三七

孝道教団

統 理 岡野 正純

横浜市神奈川区鳥越三八
〒221-0064 〇四五(四三三)一一〇〇一
FAX 〇四五(四三四)一一八八

聖観音宗 浅草寺

貫 首 清水谷 孝尚

東京都台東区浅草二―三―一
〒111-0032 〇三(三八四)二〇一八一
FAX 〇三(三八四)六九三三

真言宗大覚寺派宗務庁
大本山大覚寺

管門 長 跡 黒沢 全紹

京都市右京区嵯峨大沢町四
〒616-8411 〇七五(八七二)〇〇七
FAX 〇七五(八七二)〇〇五五

臨濟宗円覚寺派

大本山 円 覚 寺

鎌倉市山ノ内四〇九
〒247-8503 〇四六七(二二)〇四七八
<http://www.engakujior.jp/>

真言宗中山寺派

大本山 中山 寺

宝塚市中山寺二丁目十一―一
〒665-8588 〇七九七(八七七)〇〇二四
FAX 〇七九七(八七七)九八七七
<http://www.nakayamadera.or.jp/>

時宗宗務所

宗務総長 高木 貞歡

神奈川県藤沢市西富一―八―一
〒251-0001 〇四六六(二三)七二七六

東寺真言宗

宗務総長 橋本 尚信

京都市南区九条町一
東寺真言宗宗務庁
〒601-8473 〇七五(六七二)三七一七
FAX 〇七五(六六一)六八五六

大本山 須磨寺

貫 主 小池 弘三

神戸市須磨区須磨寺町四―六―八
〒654-0071 〇七八(七三二)〇四一六

北海道仏教会連盟

会 長 寺 井 紹 道

札幌市中央区北三条西十九丁目二―一
浄土真宗本願寺派北海道教区教務所内
〒060-0003 〇一一(六一)九六二三

茨城県佛教会

会 長 松本 一浩

茨城県筑西市甲一六八 藏福寺
〒308-0021 〇二九六(二四)〇一四九
FAX 〇二九六(二五)五九〇九

滋賀県仏教会

会 長 西村 冨紹

滋賀県大津市坂本五―一三―一
滋賀県大津市坂本五―一三―一
滋賀県仏教会事務局
〒520-0113 〇七七(五七八)〇〇一三
FAX 〇七七(五七八)三四一八

岐阜県仏教会

会 長 橘 正信

岐阜市西野町三―一
岐阜西別院在会所西側入口
〒500-8882 〇五八(二六六)七八〇三
FAX 〇五八(二六六)七八〇三
<http://bukkyo.gifu.net/>

暑中お見舞い申し上げます

賛助会員

【特別会員】

大本山東福寺 遠藤 楚石
 蓮華院誕生寺 川原 英照
 尾道仏教会 松岡 昭禮
 實相山中央寺 南澤 道人
 信州善光寺 若麻績信昭
 妙見閣寺 竹内 祥起
 社団法人 仙台仏教会

【団体会員】

京セラ株式会社
 東映株式会社
 株式会社損害保険ジャパン
 大和証券株式会社 営業サポート部
 野村證券株式会社 金融公共公益法人部
 朝日生命インシュアランス株式会社 (インサランセ業)
 株式会社JTB 法人東京第一事業部(旅行業)
 トップアール株式会社 (旅行業)
 近畿日本ツーリスト株式会社 (旅行業)
 東日観光株式会社 (旅行業)
 株式会社ビーエス観光 (旅行業)
 株式会社わらび座 (劇団)
 財団法人ライブラリーセンター (医療関連)
 日本デンタル株式会社 (寺院経営コンサルト)
 株式会社信天堂 (印刷業)
 株式会社図書印刷同朋舎 (印刷業)
 ティケイヘンデルアート (印刷業)
 株式会社四季社 (出版業)
 株式会社オメガコム (翻訳、出版物企画・制作)
 株式会社イー・エー・エー・エー (出版物企画・制作)

新日本法規出版株式会社 (法規図書出版)
 有限会社ルンビニ (保険代理店)
 株式会社京念珠刑部 (念珠製造・販売)
 株式会社京扇堂 (扇子製造・販売)
 株式会社公益社 (葬祭業)
 株式会社ダイセイ (総合商社)
 株式会社いせや (石材業)
 株式会社安震 (石材業)
 学校法人真宗大谷学園

仏教看護・ビハラー学会

全日本宗教用具協同組合
 全日本葬祭業協同組合連合会
 岩手県葬祭業協同組合
 埼玉葬祭業協同組合
 東京都葬祭業協同組合
 神奈川県葬祭業協同組合
 岐阜県葬祭業協同組合
 名古屋葬祭業協同組合
 愛知県葬祭業協同組合
 京都中央葬祭業協同組合
 大阪葬祭業協同組合
 大阪市規格葬儀指定店事業協同組合
 徳島県中央葬祭業協同組合
 福岡県葬祭業協同組合
 福岡県葬祭業協同組合
 長崎県葬祭業協同組合
 社団法人全日本冠婚葬祭互助協会
 一般社団法人日本石材産業協会

【個人会員】

稲盛 和夫 (京セラ株式会社名誉会長)
 社本 公一 (公認会計士)
 池田 行信 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
 石上 智康 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
 塩月 光夫 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
 高橋 篤法 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
 武田 昭英 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
 中田 清吉 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
 村上 智真 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
 村橋 吉重 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
 天性寺 毛利 俊行 (山形県)
 福聚院 伊達 廣三 (宮城県)
 東栄寺 大森 忠篤 (埼玉県)
 建福寺 安野 正樹 (埼玉県)
 法瑠寺 矢島 浄純 (埼玉県)
 本照寺 境野 哲秀 (東京都)
 慈眼寺 櫻井 英幸 (東京都)
 浄心寺 佐藤 雅彦 (東京都)
 玉林禅寺 長谷 琢堂 (東京都)
 萬福寺 垣内 善勝 (東京都)

信松院

大蔵寺 西村 輝成 (東京都)
 金蔵院 佐藤 直道 (神奈川県)
 龍泉寺 眞田 有快 (神奈川県)
 圓満寺 壽山 良光 (神奈川県)
 正泉寺 西郊 良光 (神奈川県)
 玄向寺 野澤 隆幸 (神奈川県)
 本光寺 萩須 眞教 (長野県)
 十楽寺 木村 光正 (静岡県)
 光泉寺 井口 真曜 (滋賀県)
 寂光院 松山 公顯 (愛知県)
 太福寺 松平 實胤 (愛知県)
 精明寺 佐久間大道 (真言宗御室派宗議員)
 鈴木 朝雄 (東京都)
 牧島かれん (東京都)
 佐藤 泰之 (神奈川県)
 山崎 忠征 (愛知県)
 櫻田 佳正 (京都府)
 安田 容造 (京都府)
 田中 悠樹 (長野県)
 和心庵 井上美和子 (佐賀県)
 赤松 広隆 (民主党衆議院議員)
 枝野 幸男 (民主党衆議院議員)
 大申 博志 (民主党衆議院議員)
 大西 孝典 (民主党衆議院議員)
 楠田 大蔵 (民主党衆議院議員)
 小宮山洋子 (民主党衆議院議員)
 仙谷 由人 (民主党衆議院議員)
 高木 義明 (民主党衆議院議員)
 田島 一成 (民主党衆議院議員)
 原口 一博 (民主党衆議院議員)
 平岡 秀夫 (民主党衆議院議員)
 前原 誠司 (民主党衆議院議員)
 松本 剛明 (民主党衆議院議員)
 三日月大造 (民主党衆議院議員)
 横光 克彦 (民主党衆議院議員)
 和田 隆志 (民主党衆議院議員)
 大塚 耕平 (民主党衆議院議員)
 大野 元裕 (民主党衆議院議員)
 斎藤 嘉隆 (民主党衆議院議員)

佐藤 公治 (民主党衆議院議員)

鈴木 寛 (民主党衆議院議員)
 白 眞勲 (民主党衆議院議員)
 林 久美子 (民主党衆議院議員)
 福山 哲郎 (民主党衆議院議員)
 藤谷 光信 (民主党衆議院議員)
 前田 武志 (民主党衆議院議員)
 岩屋 毅 (自由民主党衆議院議員)
 金子 恭之 (自由民主党衆議院議員)
 河村 建夫 (自由民主党衆議院議員)
 高村 正彦 (自由民主党衆議院議員)
 下村 博文 (自由民主党衆議院議員)
 高市 早苗 (自由民主党衆議院議員)
 中川 秀直 (自由民主党衆議院議員)
 長勢 甚速 (自由民主党衆議院議員)
 野田 毅 (自由民主党衆議院議員)
 平沢 勝栄 (自由民主党衆議院議員)
 保利 耕輔 (自由民主党衆議院議員)
 赤石 清美 (自由民主党衆議院議員)
 岩城 光英 (自由民主党衆議院議員)
 片山さつき (自由民主党衆議院議員)
 小坂 憲次 (自由民主党衆議院議員)
 佐藤ゆかり (自由民主党衆議院議員)
 鈴木 政二 (自由民主党衆議院議員)
 谷川 秀善 (自由民主党衆議院議員)
 中川 雅治 (自由民主党衆議院議員)
 二之湯 智 (自由民主党衆議院議員)
 早坂 義弘 (自由民主党衆議院議員)
 自見庄三郎 (国民新党衆議院議員)
 浅尾慶一郎 (みんなの党衆議院議員)
 松本 謙公 (新党大地・真民主衆議院議員)
 上川 陽子 (前衆議院議員)
 関 芳弘 (前衆議院議員)
 西川 京子 (前衆議院議員)
 佐藤 泰介 (前衆議院議員)
 田名部匡省 (前衆議院議員)

(敬称略)

事務総局録事

五月(十六日～三十一日)

- 十六日▼国際仏教興隆協会 第二回理事會・監事會出席(増上寺會館)
- 十七日▼參議院自由民主党全日本仏教議員連盟との懇談會(東京グランウドホテル)
- 十八日▼シンポジウム会場打合せ(損保ジャパン本社)
- ▼浄土真宗本願寺派築地本願寺林・藤井副宗務長來局
- 二十一日▼世界仏教徒結集出席(二十三日(タイ・バンコク))
- ▼淑徳大学藤森准教授來局
- 二十二日▼無料法律相談
- 二十三日▼宝仙学園富田理事長と面會(中野 宝仙寺)
- 二十四日▼全日本葬祭業協同組合連合會第三十七回通常總會懇親會出席(品川プリンスホテル)
- ▼A B S山中氏來局
- ▼大和証券佐藤氏來局
- 二十五日▼中央調査社來局
- ▼文化庁宗務課井上室長・大谷法規係長來局
- ▼帯広仏教連合會坂谷會長來局
- 二十八日▼比叡山サミット第三回実行委員會參加(京都 新都市テル)

- 二十九日▼第一回理事會開催(東京 グランドホテル)
- 三十日▼方丈堂出版來局
- ▼D A T新藤氏來局
- ▼民主党藤谷光信參議院議員秘書脊尾氏來局

- 三十一日▼全国青少年教化協議會主催 正力松太郎賞表彰式・祝賀會出席(東京グランウドホテル)

- ▼半田孝淳本會會長に面會(天台宗務庁)
- ▼日本宗教連盟第一回理事會出席(本會會議室)

- ▼仏教N G O ネットワーク(B N N)・日本仏教社會福祉會來局

六月(一日～三十日)

- 一日▼警察庁刑事局組織犯罪対策部暴力団対策課訪問
- ▼神社本庁訪問
- ▼第四十五回現代名僧墨蹟展表敬訪問(上野松坂屋)
- 五日▼第一回人權問題連絡協議會(増上寺)
- 七日▼埼玉県佛教會主催「全日本佛教會副會長就任祝賀會」出席(ラフォーレ清水園)
- ▼民主党仏教議員連盟總會(衆議院第一議員會館)
- ▼局内會議
- ▼D A T新藤氏來局
- 八日▼平成二十四年度算定基礎届事務説明會參加(日比谷公會堂)

- ▼損保ジャパン佐々木氏來局
- 十一日▼第二十六回世界仏教徒會議韓國大會參加(十五日(韓國 麗水))

- ▼第二十六回世界仏教徒會議韓國大會記念ツアー開催(十四日(韓國 麗水ほか))

- ▼シンポジウム打合せ(大和証券本社)

- 十二日▼大塚商會來局

- 十三日▼セールス手帖社藤崎氏來局

- ▼(株)安震來局

- 十四日▼人權委員會設置法案成立要求緊急集會參加(星陵會館)

- ▼A B S山中氏來局

- ▼齋藤明聖評議員來局

- ▼損保ジャパン來局

- 十五日▼劇団希望舞台來局

- 十八日▼静岡県仏教會 本會事業説明(静岡市 清水テルサ)

- ▼神奈川縣仏教會 本會事業説明(横浜市 中区 西有寺)

- ▼兵庫縣仏教會 本會事業説明(神戸メリケンパークオリエンタルホテル)

- ▼東京都仏教連合會總會・研修會・懇親會出席(京王プラザホテル)

- 十九日▼広島県内表敬訪問(本願寺広島別院・善正寺・明星院、三原市仏教會、尾道仏教會)

- ▼自由民主党塩谷政務會會長と面談(自由民主党本部)

- ▼比叡山宗教サミット実行委員會第一回接遇部會出席(天台

宗務庁

- 二十日▼第一回評議員會開催(明照會館會議室)
- 二十一日▼第一回宗教教育推進委員會(本會會議室)

- ▼國連U N H C R 來局

- 二十二日▼仏教N G O ネットワーク(B N N) 總會出席(明照會館會議室)

- ▼局内會議

- 二十七日▼第四十二回全日本仏教徒會議打合せ(高野山真言宗務所)

- 二十八日▼長野県仏教會 本會事業説明(松本市 ホテル翔峰)

- ▼同宗連主催 第二十七回部落解放基礎講座出席(二十九日(真言宗智山派 別院 真福寺))

- 二十九日▼第五十八回長野県佛教徒信濃大會出席(松本文化會館)

七月(一日～十五日)

- 三日▼日本仏教鑽仰會主催 東京お盆まつり出席(銀座ブロッサム中央會館)
- ▼第一回社會人權審議會(本會會議室)
- ▼方丈堂出版上山氏來局
- 四日▼長崎県仏教連合會 本會事業説明(ホテルニュー長崎)
- 五日▼出版記念會參加(自由民主党本部)
- 六日▼民主党伴野豐衆議院議員來局
- ▼文化庁宗務課懇談會(本會會議室)

救援基金 東日本大震災 第4次支援金拠出に関するご案内

全日本仏教会は救援基金より、被災地での支援活動に当たられている方々や、避難者を受け入れている寺院へ支援金を第3次支援（6月30日に終了）に引き続いて拠出をさせていただきます。

また今回の第4次支援では、支援団体の方々からご要望をいただいております、被災地の子ども達を対象にした「被災地の子ども達を受け入れる活動※」も新たに支援対象として追加をさせていただきます。

（※サマーキャンプ、寺小屋、研修、レクリエーション等）

○支援先活動例：読経ボランティア・こころのケア相談所開設・炊き出し・瓦礫撤去・足湯サービス・避難場所提供・行茶・寺院片づけ等



仮設住宅での支援イベント（写真提供 ビハール長野）



餅つき大会に参加する子ども（写真提供 東の会）

1、申込期間 平成24年11月30日（金）まで

2、支援対象 ・被災地支援団体（平成24年7月1日以降に活動したもの）
・避難者受入寺院（まだ申請をされていない寺院）

3、申込方法 一、申込用紙を本会ホームページよりダウンロード、FAXにて送信
二、活動状況が把握できる写真3枚をメールにて送信

「被災地の子ども達を受け入れる活動」の場合、募集要項、日程表を、申込書とともに、併せてご送信下さい。

※報告書内容及び写真について、後日支援報告の一環として公表させていただく場合がございます。予めご了承下さい。

※詳細は本会HP「第4次支援金拠出のご案内」をご覧ください。

お問い合わせ先

全日本仏教会 社会人権部 〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 明照会館2階

TEL 03-3437-9275 FAX 03-3437-3260

ホームページ <http://www.jbf.ne.jp> 支援写真送付先メールアドレス syakai@jbf.ne.jp